

かささぎ



北京日本人学校
学校通信 第7号
令和3年11月30日
校長 細野 輝彦

ひみつ道具をどう使う？

教頭 小川 裕子

「タケコプター！」「どこでもドア！」「タイムふろしき！」などなど四次元ポケットから出てくるさまざまな道具を「すごいなー、あったらいいなー、私だったらどう使うかな？」と色々なことを想像しながら楽しんだ「ドラえもん」。ご存じの通り1970年に連載が開始されて、今も世界中で愛されている有名な漫画です。

ドラえもんがどの時代からのび太君のもとにやってきたか知っていますか？現在からもまだ一世紀以上先の未来、2123年からです。ドラえもんは連載開始の50年前も今も、遠い未来から来た夢の存在で、のび太君を未来のひみつ道具で助けてくれたり、言葉で励ましたり見守ったりしてくれているのです。助けてもらうのび太君は今を生きる私たちにも重なります。たくさんの人に愛される理由はそこにあるのかもしれない。

ところが、昔ワクワクしながら見ていた魅力的な未来のひみつ道具を見返すと、もう“ひみつ”でなくなっている物も多いことに気が付きます。

例えば…

「糸なし糸電話」… 携帯電話、スマートフォン
「ほんやくコンニャク」… ポケトーク等の翻訳機、翻訳アプリ
「うわさ花し」… twitter等のSNS
「宇宙完全大百科」… GoogleやYahoo!などの検索サイト
「観光ビジョン」「近道マップ」… Googleマップ
「イージー特撮ビデオ」… 動画撮影・編集アプリ などなど…



『人気漫画』というのは、読者の求めるものと、まんが家が表そうとしているものとが、幸運にも一致したものなのです。」これは作者である藤子・F・不二雄さんの言葉です。人気漫画であるドラえもんに描かれた未来のひみつ道具は確かに読者（社会）が求める物であり、それが実在の物となったのでしょう。夢だった未来のひみつ道具を知らぬ間に使うようになっている私たち、本当に社会の変化・進化のスピードはすごいと驚くしかありません。

今、教室では全ての学年の児童生徒がiPadを操り、課題に取り組んだり、クラスメイトと課題を共有したり、プレゼンをしたり、写真を撮って加工したりと、新しい形の学びにも取り組んでいます。私の子供のころからすると予想もできない光景です。正にひみつ道具を手に入れた子供たちです。GIGAスクール構想やコロナ禍により本校でも大変急速にICT化が進みました。ICT化された教育には「わかりやすい授業の実現」「授業の効率化」「個別最適な学習の実現」「協働学習の充実」「情報活用能力の向上」など様々なメリットがあります。しかし一方で「インターネットをめぐる問題」「自力で考えぬく力の低下」「書く力の低下」などのデメリットも指摘されています。



ドラえもんの原作には、未来のひみつ道具を使うことで皆が幸せになる話もあります。しかしご存じの通り、のび太君が道具に頼ってよくない使い方をしたために最後に失敗してしまう話もあります。

学習のための便利なひみつ道具を手に入れた子供たちが、幸せな明るい未来に進んでいくことができるように、道具を適切にそして有効に取り扱えるよう、教員もしっかりとメリット・デメリットを把握して、より効果的な学びを生み出せるよう考えていきたいと思えます。

新生徒会会長の挨拶



この度、生徒会会長に就任した、中学部二年一組の田川京華です。生徒会長に就任し、身の引き締まる思いです。これから、副会長、書記全員で力を合わせ、皆さんの学校生活をサポートできるように頑張ります。

私たち生徒会は、今以上に他学年とも笑顔で関わることのできる学校にしていきたいと考えています。そして、校長先生が仰っていたように、「お互い様」が当たり前だと思える学校にしていきたいと考えています。そのために、人との関わりを増やしていけるイベントの実施や、意見ボックスの積極的な活用、昼休みにプレイルームなどの教室の開放、中学部だけになってしまいますが自習室の設置等を計画しています。活動内容はもちろん、何の目的でこの活動は行われているのかを、わかりやすく情報発信していきます。もし、行うことができなかった場合は、違う形できちんと実施できるよう試行錯誤していきます。そして、全校で協力し合い、思い出に残る生徒会イベントをつくっていききたいと思っています。これからどうぞよろしくをお願いします。

小学部 学習発表会

11月12日、小学部学習発表会を開催しました。残念ながら体育館に一堂に会すことはできませんでしたが、2年ぶりに開催できたことは何よりでした。途中でオンライン開催に変更したため、見せ方や音声の伝え方等、試行錯誤の連続でしたが、より良いものを創り上げようと、子どもたちも粘り強く取り組んでいました。当日は存分に力を発揮し発表することができました。1年生の学校生活の紹介から、6年生の自我とは何かを訴えかける内容まで、学年それぞれの学びと発達段階を生かした発表で、とても見ごたえがあったのではないのでしょうか。子どもたちにとっても、学年が丸となって取り組んだことにより、集団の結束を深める学びとなりました。(小学部)



事務局のまど

今年9月から環境改善の目的で始めた外部委託業務が2つあります。

一つめは、毎週土曜日の施設設備メンテナンスです。ドアの開閉の不具合や、水の詰まりを解消したり、巾木剥がれや暖気カバーのずれを直したり等、教職員では手が回らない部分を補ってもらっています。

二つめは、月に1度、週末に行う校内清掃です。毎回15人ほどの作業員が入り、全校の廊下、階段、トイレ、水場を清掃します。北京日本人学校の校舎は新しくないですが、これからも教育の場にふさわしい便利で清潔感ある環境を保っていききたいと思えます。



ただいま 何人?

小学部

中学部

1年	31	1年	21
2年	23	2年	13
3年	33	3年	13
4年	27	中合計	47
5年	21		
6年	21		
小合計	156	総合計	203

※令和3年11月30日現在